

第5節 バンニング関係手続

システムを使用して、貨物をバンニングする場合の手続は、この節の定めるところによる。

1 バンニング関係手続の概要

海貨業者等は、バンニングプランに基づき、「バンニング情報予定登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAP）又は「バンニング情報予定登録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：VPE）を利用して、貨物のバンニング指示（バンニング予定情報）をシステムに登録する。

なお、システムに登録されたバンニング予定情報は、「バンニング情報登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAN）等で利用することができる。

システム参加保税地域等において貨物をバンニング後に搬出する場合、倉主等は「バンニング情報登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAN）又は「バンニング情報登録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：VAE）を利用して、バンニング情報をシステムに登録する。なお、システム参加保税地域等においては、この登録が搬出確認登録を兼ねる。

2 バンニング情報予定登録

(1) 業務対象

「バンニング情報予定登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAP）及び「バンニング情報予定登録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：VPE）は、それぞれ次の登録を対象とする。

ただし、バンニング場所が複数になる場合は、「バンニング情報予定登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAP）を利用する。経由地について、本業務では登録の制限はないが、「バンニング情報登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAN）では、経由地の登録は最大5カ所までとなっていることから留意すること。

なお、バンニング情報予定登録は、1件のコンテナ番号に最大100件の輸出管理番号又は1件の輸出管理番号に最大200件のコンテナ番号を登録することができる。

また、バンニング情報予定登録を訂正し又は取り消す場合も本業務により行う。

イ 「バンニング情報予定登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAP）

「バンニング情報登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAN）を実施する前のバンニングプランをコンテナ単位でシステムに登録する場合。

ロ 「バンニング情報予定登録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：VPE）

「バンニング情報登録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：VAE）を実施する前のバンニングプランを輸出管理番号単位でシステムに登録する場合。

(2) バンニング情報予定登録の流れ

バンニング情報予定登録における「経由地コード」欄の入力については、次による。

イ バンニング場所が1カ所の場合

コンテナが搬入される予定のCYを「搬入先コード」欄に入力し、「経由地コード」欄は入力しない。

ロ バンニング場所を複数経由する場合

最初のバンニング場所におけるバンニング情報予定を「バンニング情報予定登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAP）を利用して、コンテナが搬入される予定のCYを「搬入先コード」欄に入力し、次の経由先のバンニング場所を「経由地コード」欄に入力する。

次の経由地におけるバンニング情報予定を「バンニング情報予定登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAP）により登録し、さらに別のバンニング場所を経由する場合は、「搬入先コード」欄及び「経由地コード」欄に次の経由先のバンニング場所を入力し、最後のバンニング場所における登録まで同様の入力を繰り返す。

最後のバンニング場所における登録については、「搬入先コード」欄のみを入力し、「経由地」欄を入力しないことにより、バンニング情報予定登録の終了となる。

（事例1）バンニング場所が1カ所の場合

A蔵置場

バンニング情報予定登録

搬入先：A-CY

経由地：（入力しない。）

（バンニング情報予定登録終了）

（事例2）バンニング場所が2カ所の場合

A蔵置場

バンニング情報予定登録

搬入先：A-CY

経由地：B蔵置場

B蔵置場

バンニング情報予定登録

搬入先：A-CY

経由地：（入力しない。）

（バンニング情報予定登録終了）

（3）仮コンテナ番号

バンニング情報予定登録業務、バンニング情報登録業務で使用する「仮コンテナ番号」とは、バンニング予定のコンテナ番号又はこれに代わる番号であって、次の番号をいう。

イ バンニング予定のコンテナ番号

ロ 利用者が管理する任意の番号

（イ） 1桁目から5桁目 ： バンニング場所の保税地域コード

（ロ） 6桁目から9桁目 ： 任意の数字（4桁）

（例） 1AW89 1234

（イ） （ロ）

ハ 新規登録時に入力がない場合、システムより払い出される番号

（4）バンニング情報予定登録（コンテナ単位）

イ 登録、訂正又は取消しの方法

（イ） 呼出しによらない方法

「バンニング情報予定登録」業務（業務コード：VAP）を利用して、次の事項を入力し送信する。

<共通部>

〔1〕 処理区分コード（「処理区分＊」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
新規登録	9
訂正	5
取消し	1

[2] 搬入先コード（「搬入先コード」欄）

搬入先の保税地域コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

なお、直接外国貿易船に船積みする場合は、積載予定船舶の信号符字（コールサイン）を必須入力する。

信号符字がシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[3] 経由地コード（「経由地コード」欄）

経由する保税地域を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

[4] 積載予定船舶コード（「積載予定船舶」欄）

積載予定船舶の信号符字（コールサイン）を必須入力する。

「搬入先コード」欄に積載予定船舶の船舶コードを入力した場合は、同一であること。
船舶コードがシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[5] 航海番号（「航海番号」欄）

積載予定船舶の航海番号（運航船会社単位）を必須入力する。

航海番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

[6] 船会社コード（「船会社」欄）

積載予定船舶に係るブッキング船会社を船会社コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

船会社コードがシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[7] 積出港コード（「積出港」欄）

貨物の積出港を国連LOCODE（「業務コード集」参照）で入力する。

[8] 搬出予定年月日（「搬出予定日時」欄左）

貨物をコンテナにバンニングし、バンニング場所から搬出する予定年月日を西暦（8桁）で入力する。

[9] 搬出予定時刻（「搬出予定日時」欄右）

搬出予定時刻を24時間制（4桁）で入力する。

[10] 仮コンテナ番号（「仮コンテナ番号」欄）

仮コンテナ番号を入力する。

コンテナ番号が不明の場合で、システムより仮コンテナ番号を払い出す場合は、入力を要しない。

[11] コンテナ自重（「コンテナ自重」欄左）

コンテナ自重を入力する。

[12] コンテナ自重単位コード（「コンテナ自重」欄右）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
キログラム	KGM

区 分	コード
ポンド	L B R

※ [13] の項目は、最大6欄まで繰り返し入力することができる。

[13] シール番号（「シール番号」欄）

シール番号を入力する。

[14] コンテナサイズコード（「コンテナサイズ」欄）

コンテナのサイズをコンテナサイズコード（「業務コード集」参照）で入力する。

[15] コンテナタイプコード（「コンテナタイプ」欄）

コンテナの形式（タイプ）をコンテナ形式コード（「業務コード集」参照）で入力する。

[16] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄左）

貨物のバンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[17] バンニング場所地域名（「バンニング場所」欄右）

システムにバンニング場所の地域名が登録されていない場合は、バンニング場所地域の名称を必須入力する。

[18] ブッキング番号（コンテナ単位）（「ブッキング番号（コンテナ）」欄）

コンテナ単位のブッキング番号を登録する場合であって、「ブッキング番号（貨物）」欄を入力しない場合は、ブッキング番号を必須入力する。

「ブッキング番号（貨物）」欄を入力する場合は、入力不可。

ブッキング番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

[19] 社内整理番号（「社内整理番号」欄）

自社で管理する社内整理番号を入力する。

<繰返部>

※ 以下 [20] から [27] までの項目は、最大100欄まで繰り返し入力することができる。

[20] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号、仮陸揚貨物の場合はB／L番号を必須入力する。

[21] バンニング個数（「バンニング個数」欄左）

バンニングする貨物の個数を貨物情報に登録されている総個数の範囲内で必須入力する。

なお、個数で表現できない貨物の場合は、「1」を入力する。

[22] バンニング個数単位コード（「バンニング個数」欄右）

バンニングする貨物の外装梱包の単位を包装種類コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

貨物情報に登録されている個数の単位と一致すること。

[23] バンニング重量（「重量」欄左）

バンニングする貨物の重量を必須入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[24] バンニング重量単位コード（「重量」欄右）

重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入

力する。

[25] バンニング容積（「容積」欄左）

バンニングする貨物の容積を入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[26] バンニング容積単位コード（「容積」欄右）

容積の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で入力する。

[27] ブッキング番号（貨物単位）（「ブッキング番号（貨物）」欄）

貨物単位のブッキング番号を登録する場合であって、「ブッキング番号（コンテナ）」欄に入力しなかった場合は、必須入力する。

「ブッキング番号（コンテナ）」欄を入力した場合は、入力不可。

ブッキング番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

(Ⅱ) 呼出しによる方法

「バンニング情報予定登録（コンテナ単位）呼出し」業務（業務コード：V A P 1 1）を利用して、次の事項を入力し送信することにより、システムに登録されているコンテナ情報及び貨物情報が「バンニング情報予定登録（コンテナ単位）呼出情報」（出力情報コード：S A T O 2 2 1）として応答画面に出力されることから、出力された内容を確認の上、前記(Ⅰ)（呼出しによらない方法）に準じて必要とする事項を上書き入力し送信する。

[1] 処理区分コード（「処理区分*」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
新規登録	9
訂正	5
取消し	1

[2] 仮コンテナ番号（「仮コンテナ番号」欄）

仮コンテナ番号を入力する。

「処理区分*」欄に「5」（訂正）又は「1」（取消し）を入力した場合であって、「社内整理番号」欄を入力する場合は、入力不可。

[3] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄）

貨物のバンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[4] 社内整理番号（「社内整理番号」欄）

自社で管理する社内整理番号を入力する。

「仮コンテナ番号」欄を入力した場合は、入力不可。

※ [5] の項目は、最大100欄まで繰り返し入力することができる。

[5] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

「処理区分*」欄に「9」（新規登録）を入力した場合であって、輸出（積戻し）貨物の場合は、輸出管理番号を必須入力する。

「処理区分*」欄に「9」（新規登録）を入力した場合であって、仮陸揚貨物の場合は、B/L番号を必須入力する。

「処理区分＊」欄に「５」（訂正）又は「１」（取消し）を入力した場合は、入力不可。

ロ 出力情報

前記イ（登録の方法）によりバンニング情報予定がコンテナ単位でシステムに登録された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
バンニング予定 情報（コンテナ 単位）	S A T O 1 7 1	「処理区分＊」欄に「９」（新規登録） 又は「５」（訂正）を入力した場合。	登録者
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「処理区分＊」欄に「９」（新規登録） 又は「５」（訂正）を入力した場合。 ② バンニング先がシステム参加保税 地域である場合。	バンニング場所 の保税地域
バンニング予定 取消情報（コン テナ単位）	S A T O 1 8 1	「処理区分＊」欄に「１」（取消し）を 入力した場合。	登録者
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「処理区分＊」欄に「１」（取消し） を入力した場合。 ② バンニング先がシステム参加保税 地域である場合。	バンニング場所 の保税地域
バンニング予定 船舶・積出港差 異情報	S A T O 2 1 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「処理区分＊」欄に「９」（新規登録） 又は「５」（訂正）を入力した場合。 ② 輸出許可されている場合。 ③ 積載予定船舶コード、積出港と輸 出許可された積載予定船舶コード、 積出港のいずれか又は両方が異な っている場合。	登録者 輸出申告を行 った利用者
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「処理区分＊」欄に「９」（新規登録） 又は「５」（訂正）を入力した場合。 ② 輸出許可されている場合。 ③ 積載予定船舶コード、積出港と輸 出許可された積載予定船舶コード、 積出港のいずれか又は両方が異な っている場合。 ④ バンニング先がシステム参加保税 地域である場合。	バンニング場所 の保税地域

(5) バンニング情報予定登録（輸出管理番号単位）

イ 登録、訂正又は取消しの方法

(イ) 呼出しによらない方法

「バンニング情報予定登録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：V P E）を利用して、次の事項を入力し送信する。

< 共通部 >

[1] 処理区分コード（「処理区分＊」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
新規登録	9
訂正	5
取消し	1

[2] 搬入先コード（「搬入先コード」欄）

搬入先の保税地域コード（「業務コード集」参照）又は直接本船に船積みする場合は、積載予定船舶の信号符字（コールサイン）を必須入力する。

信号符字がシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[3] 積載予定船舶コード（「積載予定船舶」欄）

積載予定船舶の信号符字（コールサイン）を必須入力する。

「搬入先コード」欄に積載予定船舶の船舶コードを入力した場合は、同一であること。

信号符字がシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[4] 航海番号（「航海番号」欄）

積載予定船舶の航海番号（運航船会社単位）を必須入力する。

航海番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

[5] 船会社コード（「船会社」欄）

積載予定船舶に係るブッキング船会社を船会社コードで必須入力する。

船会社コードがシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[6] 積出港コード（「積出港」欄）

貨物の積出港を国連L O C O D E（「業務コード集」参照）で入力する。

[7] 搬出予定年月日（「搬出予定日時」欄左）

貨物をコンテナにバンニングし、バンニング場所から搬出する予定年月日を西暦（8桁）で入力する。

[8] 搬出予定時刻（「搬出予定日時」欄右）

搬出予定時刻を24時間制（4桁）で入力する。

[9] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等＊」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号を、仮陸揚貨物の場合はB／L番号を必須入力する。

[10] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄左）

貨物のバンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[11] バンニング場所地域名（「バンニング場所」欄右）

システムにバンニング場所の地域名が登録されていない場合は、バンニング場所地域の名称を必須入力する。

[12] ブッキング番号（貨物単位）（「ブッキング番号」欄）

ブッキング番号を必須入力する。

ブッキング番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

[13] 社内整理番号（「社内整理番号」欄）

自社で管理する社内整理番号を入力する。

<繰返部>

※ 以下 [14] から [25] までの項目は、最大 200 欄まで繰り返し入力することができる。

[14] 仮コンテナ番号（「仮コンテナ番号」欄）

仮コンテナ番号を入力する。

コンテナ番号が不明の場合又はシステムより仮コンテナ番号を払い出す場合は、入力を要しない。

[15] コンテナ自重（「コンテナ自重」欄左）

コンテナの自重を入力する。

[16] コンテナ自重単位コード（「コンテナ自重」欄右）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
キログラム	K G M
ポンド	L B R

※ [17] の項目は、[14] の項目 1 欄につき最大 6 欄まで繰り返し入力することができる。

[17] シール番号（「シール番号」欄）

コンテナのシール番号を入力する。

[18] コンテナサイズコード（「コンテナサイズ」欄）

コンテナのサイズをコンテナサイズコード（「業務コード集」参照）で入力する。

[19] コンテナタイプコード（「コンテナタイプ」欄）

コンテナの形式（タイプ）をコンテナ形式コード（「業務コード集」参照）で入力する。

[20] バンニング個数（「バンニング個数」欄左）

バンニングする貨物の個数を、貨物情報に登録されている総個数の範囲内で必須入力する。

なお、個数で表現できない貨物の場合は、「1」を入力する。

[21] バンニング個数単位コード（「バンニング個数」欄右）

バンニングする貨物の外装梱包の単位を包装種類コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

貨物情報に登録されている個数の単位と一致すること。

[22] バンニング重量（「重量」欄左）

バンニングする貨物の重量を必須入力する。

なお、小数点以下第 3 位まで入力することができる。

[23] バンニング重量単位コード（「重量」欄右）

重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入

力する。

[24] バンニング容積（「容積」欄左）

バンニングする貨物の容積を入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[25] バンニング容積単位コード（「容積」欄右）

容積の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で入力する。

(ロ) 呼出しによる方法

「バンニング情報予定登録（輸出管理番号単位）呼出し」業務（業務コード：V P E 1 1）を利用して、次の事項を入力し送信することにより、システムに登録されているコンテナ情報及び貨物情報が「バンニング情報予定登録（輸出管理番号単位）呼出し情報」（出力情報コード：S A T O 2 3 2）として応答画面に出力されることから、出力された事項を確認の上、前記(イ)（呼出しによらない方法）に準じて必要とする事項を上書き入力し送信する。

[1] 処理区分コード（「処理区分*」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
新規登録	9
訂正	5
取消し	1

[2] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

「処理区分*」欄に「9」（新規登録）を入力した場合であって、輸出（積戻し）貨物の場合は、輸出管理番号を必須入力する。

「処理区分*」欄に「9」（新規登録）を入力した場合であって、仮陸揚貨物の場合は、B/L番号を必須入力する。

「処理区分*」欄に「5」（訂正）又は「1」（取消し）を入力した場合であって、「社内整理番号」欄を入力する場合は、入力不可。

[3] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄）

貨物のバンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[4] 社内整理番号（「社内整理番号」欄）

自社で管理する社内整理番号を入力する。

「輸出管理番号等」欄を入力した場合は、入力不可。

※ [5] の項目は、最大200欄まで繰り返し入力することができる。

[5] 仮コンテナ番号（「仮コンテナ番号」欄）

仮コンテナ番号を入力する。

コンテナ番号が不明の場合で、システムより仮コンテナ番号を払い出す場合は、入力を要しない。

ロ 出力情報

前記イ（登録の方法）によりバンニング情報予定が輸出貨物管理番号単位でシステムに登録された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
バンニング予定 情報（輸出管理 番号単位）	S A T O 1 9 2	「処理区分＊」欄に「9」（新規登録） 又は「5」（訂正）を入力した場合。	登録者
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「処理区分＊」欄に「9」（新規登録）又は「5」（訂正）を入力した場合。 ② バンニング場所がシステム参加保税地域である場合。	バンニング場所の 保税地域
バンニング予定 取消情報（輸出 管理番号単位）	S A T O 2 0 1	「処理区分＊」欄に「1」（取消し） を入力した場合。	登録者
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「処理区分＊」欄に「1」（取消し） を入力した場合。 ② バンニング場所がシステム参加保税地域である場合。	バンニング場所の 保税地域
バンニング予定 船舶・積出港差 異情報	S A T O 2 1 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「処理区分＊」欄に「9」（新規登録）又は「5」（訂正）を入力した場合。 ② 輸出許可されている場合。 ③ 積載予定船舶コード、積出港と輸出許可された積載予定船舶コード、積出港のいずれか又は両方が異なっている場合。	登録者 輸出申告を行った 利用者
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「処理区分＊」欄に「9」（新規登録）又は「5」（訂正）を入力した場合。 ② 輸出許可されている場合。 ③ 積載予定船舶コード、積出港と輸出許可された積載予定船舶コード、積出港のいずれか又は両方が異なっている場合。 ④ バンニング場所がシステム参加保税地域である場合。	バンニング場所の 保税地域

3 バンニング情報登録

(1) 業務対象

「バンニング情報登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAN）及び「バンニング情報登

録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：VAE）は、それぞれ次の登録を対象とする。

ただし、バンニング場所が複数になる場合は、「バンニング情報登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAN）を利用して、最大5カ所まで経由地を登録することができる。

なお、バンニング情報登録は、1件のコンテナ番号に最大100件の輸出管理番号又は1件の輸出管理番号に最大200件のコンテナ番号を登録することができる。

また、システム参加保税地域をバンニング場所とする場合、バンニング情報がシステムに登録されるまでの間に、バンニング場所での搬入確認情報が登録されている必要があることから留意すること。

イ システム参加保税地域等において、貨物をバンニングして搬出する場合。

ロ システム参加保税地域等以外の保税地域において、バンニングした旨をシステムに登録する場合。

(2) バンニング情報登録の流れ

バンニング情報登録におけるバンニング場所の入力については、次による。

イ バンニング場所が1カ所の場合

コンテナが搬入されるCYを「搬入先コード」欄に入力し、「経由地コード」欄は入力しない。

ロ バンニング場所が複数経由する場合

最初のバンニング場所におけるバンニング情報を「バンニング情報登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAN）を利用して、コンテナが搬入されるCYを「搬入先コード」欄に入力し、次の経由先のバンニング場所を「経由地コード」欄に入力する。

次の経由地におけるバンニング情報を「バンニング情報登録（コンテナ単位）」業務（業務コード：VAN）により登録し、さらに別のバンニング場所を経由する場合は、「搬入先コード」欄及び「経由地コード」欄に次の経由先のバンニング場所を入力し、最後のバンニング場所における登録まで同様の入力を繰り返す。

最後のバンニング場所においては、「搬入先コード」欄のみを入力し、「経由地」欄を入力しないことにより、バンニング情報登録の終了となる。

（事例1）バンニング場所が1カ所の場合

A蔵置場	A-CY
バンニング情報登録	CY搬入確認登録
搬入先：A-CY	船積情報登録
経由地：（入力しない。）	
（バンニング情報登録終了）	

（事例2）バンニング場所が2カ所の場合

A蔵置場	B蔵置場	A-CY
バンニング情報登録	バンニング情報登録	CY搬入確認登録
搬入先：A-CY	搬入先：A-CY	船積情報登録
経由地：B蔵置場	経由地：（入力しない。）	
	（バンニング情報登録終了）	

(注)「CY搬入確認登録」業務(業務コード:CYA)が本業務より前に実施されている場合であって、「CY搬入確認登録」業務(業務コード:CYA)において入力した次の項目と本業務において入力した次の項目が異なる場合は、「CY搬入確認登録」業務(業務コード:CYA)において登録されている内容を優先し、「バンニング情報登録」で入力された内容はシステムに登録されないことから留意すること。

- ① 「積載予定船舶コード」欄
- ② 「航海番号」欄
- ③ 「コンテナタイプコード」欄
- ④ 「コンテナサイズコード」欄

(3) バンニング情報登録(コンテナ単位)

イ 登録の方法

(イ) 呼出しによらない方法

「バンニング情報登録(コンテナ単位)」業務(業務コード:VAN)を利用して、次の事項を入力し送信する。

なお、輸出許可時にシステムに登録されているバンニング場所コード(保税地域コード)と本業務で入力したバンニング場所コード(保税地域コード)が一致する必要があるので留意すること(「システム外搬入確認(輸出許可済)」業務(業務コード:BIE)によりシステムに登録されたマニュアル許可済貨物の場合を除く。)

<共通部>

[1] 搬入先コード(「搬入先コード」欄)

搬入先の保税地域コード(「業務コード集」参照)又は直接外国貿易船に船積みする場合は積載予定船舶の信号符字(コールサイン)を必須入力する。

信号符字がシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[2] 経由地コード(「経由地コード」欄)

経由する保税地域を保税地域コード(「業務コード集」参照)で入力する。

[3] 積載予定船舶コード(「積載予定船舶*」欄)

積載予定船舶の信号符字(コールサイン)を必須入力する。

「搬入先コード」欄に積載予定船舶の信号符字を入力した場合は、同一であること。

信号符字がシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[4] 航海番号(「航海番号*」欄)

積載予定船舶の航海番号(運航船会社単位)を必須入力する。

航海番号が不明の場合は、「ZZZZ」を入力する。

[5] 船会社コード(「船会社*」欄)

積載予定船舶に係るブッキング船会社を船会社コードで必須入力する。

船会社コードがシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[6] 積出港コード(「積出港」欄)

貨物の積出港を国連LOCODE(「業務コード集」参照)で入力する。

[7] 搬出年月日(「搬出日時*」欄左)

貨物をコンテナにバンニングし、バンニング場所から搬出する年月日を西暦(8桁)

で必須入力する。

[8] 搬出時刻（「搬出日時＊」欄右）

搬出時刻を 24 時間制（4 桁）で入力する。

[9] コンテナ番号（「コンテナ番号＊」欄）

貨物をバンニングするコンテナ番号を必須入力する。

[10] コンテナ自重（「コンテナ自重」欄左）

コンテナの自重を入力する。

[11] コンテナ自重単位コード（「コンテナ自重」欄右）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
キログラム	KGM
ポンド	L B R

※ [12] の項目は、最大 6 欄まで繰り返し入力することができる。

[12] シール番号（「シール番号」欄）

「経由地コード」欄を入力しなかった場合は、コンテナのシール番号を必須入力する。

[13] コンテナサイズコード（「コンテナサイズ」欄）

コンテナのサイズをコンテナサイズコード（「業務コード集」参照）で入力する。

なお、既に「バンニング情報登録」業務が行われている場合は、システムに登録されているコンテナサイズと一致する必要がある。

[14] コンテナタイプコード（「コンテナタイプ」欄）

コンテナの形式（タイプ）をコンテナ形式コード（「業務コード集」参照）で入力する。

なお、既にバンニング情報登録が行われている場合は、システムに登録されているコンテナタイプと一致する必要がある。

[15] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄左）

貨物のバンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[16] バンニング場所地域名（「バンニング場所」欄右）

システムにバンニング場所の地域名がシステムに登録されていない場合は、バンニング場所地域の名称を必須入力する。

[17] ブッキング番号（コンテナ単位）（「ブッキング番号（コンテナ）」欄）

コンテナ単位のブッキング番号を登録する場合であって、「ブッキング番号（貨物）」欄に入力しない場合は、ブッキング番号を必須入力する。

「ブッキング番号（貨物）」欄を入力した場合は、入力不可。

ブッキング番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

< 繰返部 >

※ 以下 [18] から [25] までの項目は、最大 100 欄まで繰り返し入力することができる。

[18] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号、仮陸揚貨物の場合は B / L 番号を必須入力する。

[19] バンニング個数（「バンニング個数」欄左）

バンニングした貨物の個数を、貨物情報に登録されている総個数の範囲内で必須入力する。

なお、個数で表現できない貨物の場合は、「1」を入力する。

[20] バンニング個数単位コード（「バンニング個数」欄右）

バンニングした貨物の外装梱包の単位を包装種類コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

貨物情報に登録されている個数の単位と一致すること

[21] バンニング重量（「重量」欄左）

バンニングした貨物の重量を必須入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[22] バンニング重量単位コード（「重量」欄右）

重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入力する。

[23] バンニング容積（「容積」欄左）

バンニングした貨物の容積を入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[24] バンニング容積単位コード（「容積」欄右）

容積の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で入力する。

[25] ブッキング番号（貨物単位）（「ブッキング番号（貨物）」欄）

貨物単位のブッキング番号を登録する場合であって、「ブッキング番号（コンテナ）」欄を入力しなかった場合は、必須入力する。

「ブッキング番号（コンテナ）」欄を入力した場合は、入力不可。

ブッキング番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

(ロ) 呼出しによる場合

「バンニング情報登録（コンテナ・ブッキング単位）呼出し」業務（業務コード：VAN 1 1）を利用して、次の事項を入力し送信することにより、システムに登録されているコンテナ情報、貨物情報又はバンニング予定情報が「バンニング情報登録（コンテナ・ブッキング単位）呼出情報」（出力情報コード：SAT 1 0 8 1）として応答画面に出力されることから、出力された内容を確認の上、前記(イ)（呼出しによらない方法）に準じて必要とする事項を上書き入力し送信する。

[1] 呼出区分コード（「呼出区分*」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
コンテナ情報呼出し	A
ブッキング情報呼出し	B
バンニング予定情報呼出し	C

[2] コンテナ番号（「コンテナ番号」欄）

コンテナ情報又はブッキング情報から呼び出す場合は、コンテナ番号を必須入力する。

バンニング予定情報から呼び出す場合は、入力不可。

[3] 船会社コード（「船会社」欄）

ブッキング情報から呼び出す場合は、積載予定船舶に係るブッキング船会社を船会社コードで必須入力する。

船会社コードがシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

コンテナ情報又はバンニング予定情報から呼び出す場合は、入力不可。

[4] ブッキング番号（「ブッキング番号」欄）

ブッキング情報から呼び出す場合は、ブッキング番号を必須入力する。

ブッキング番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

コンテナ情報又はバンニング予定情報から呼び出す場合は、入力不可。

[5] 仮コンテナ番号（「仮コンテナ番号」欄）

バンニング予定情報から呼び出す場合で、バンニング予定情報を仮コンテナ番号から呼び出す場合は、仮コンテナ番号を入力する。

バンニング予定情報を社内整理番号から呼び出す場合は、入力不可。

[6] 社内整理番号（「社内整理番号」欄）

バンニング予定情報から呼び出す場合で、バンニング予定情報を社内整理番号から呼び出す場合は、社内整理番号を入力する。

バンニング予定情報を仮コンテナ番号から呼び出す場合は、入力不可。

[7] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄）

バンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

※ [8] の項目は、最大 100 欄まで繰り返し入力することができる。

[8] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号、仮陸揚貨物の場合はB／L 番号を入力する。

「呼出区分＊」欄に「A」（コンテナ情報呼出し）又は「B」（ブッキング情報呼出し）を入力した場合は、必須入力する。

その他の呼出区分コードの場合は、入力不可。

ロ 出力情報

前記イ（登録の方法）によりバンニング情報がシステムに登録された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
危険貨物等通知 情報	S A S O O 1 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「C Y 搬入確認登録」業務（業務コード：C Y A）が実施されている場合。 ② 「経由地コード」欄を入力しなかった場合又はシステム不参加保税地域を入力した場合。 ③ 税関へ通知を要する危険貨物等がシステムに登録されている場合。	搬入先の管轄税関 （保税担当部門）

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
コンテナ通知情報	S A T O 2 4 1	「経由地コード」欄を入力しなかった場合。	搬入先の保税地域
		次の条件を全て満たす場合。 ① 「経由地コード」欄を入力しなかった場合。 ② 「船会社＊」欄に入力した船会社コードに係る船会社がシステムに参加している場合。	ブッキング船会社
		入力した経由地がシステム参加保税地域の場合。	経由地の保税地域
他所蔵置搬出通知情報	S A S O 0 4 0	入力したバンニング場所が他所蔵置である場合。	他所蔵置場所の管轄税関 (保税担当部門)
搬入時自動起動取消通知情報	S A S O 0 3 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「C Y 搬入確認登録」業務（業務コード：C Y A）が実施されている場合。 ② 税関へ通知を要する事故貨物がシステムに登録されている場合。 ③ 搬入時申告の旨がシステムに登録されている場合。	搬入時申告の登録者
搬出通知情報 (コンテナ単位)	S A T O 2 7 0	バンニング場所がシステム参加保税地域で、当該保税地域があらかじめシステムに登録している通関業又は海貨業が入力者である場合。	バンニング場所の保税地域

(4) バンニング情報登録（輸出管理番号単位）

イ 登録の方法

(イ) 呼出しによらない方法

「バンニング情報登録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：V A E）を利用して、次の事項を入力し送信する。

なお、本業務1回の送信により登録することのできるコンテナ番号は最大30件であることから、それを超える登録の場合は、複数回に分けて実施する。

<共通部>

[1] 搬入先コード（「搬入先コード＊」欄）

搬入先の保税地域コード（「業務コード集」参照）又は直接本船に船積みする場合は、

積載予定船舶の信号符字（コールサイン）を必須入力する。

信号符字がシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[2] 積載予定船舶コード（「積載予定船舶＊」欄）

積載予定船舶の信号符字（コールサイン）を必須入力する。

「搬入先コード＊」欄に積載予定船舶の信号符字を入力した場合は、同一であること。

信号符字がシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[3] 航海番号（「航海番号＊」欄）

積載予定船舶の航海番号（運行船会社単位）を必須入力する。

航海番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

[4] 船会社コード（「船会社＊」欄）

積載予定船舶に係るブッキング船会社の船会社コードを必須入力する。

船会社コードがシステムに登録されていない場合は、「9999」を入力する。

[5] 積出港コード（「積出港」欄）

貨物の積出港を国連LOCODE（「業務コード集」参照）で入力する。

[6] 搬出年月日（「搬出日時＊」欄左）

貨物をコンテナにバンニングし、バンニング場所から搬出する年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

[7] 搬出時刻（「搬出日時＊」欄右）

搬出時刻を24時間制（4桁）で入力する。

[8] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等＊」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号、仮陸揚貨物の場合はB/L番号を必須入力する。

[9] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄左）

貨物のバンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[10] バンニング場所地域名（「バンニング場所」欄右）

バンニング場所の地域名がシステムに登録されていない場合は、バンニング場所の地域名を必須入力する。

[11] ブッキング番号（貨物単位）（「ブッキング番号（貨物単位）＊」欄）

ブッキング番号を必須入力する。

ブッキング番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

<繰返部>

※ 以下 [12] から [23] までの項目は、最大 30 欄まで繰返し入力することができる。

[12] コンテナ番号（「コンテナ番号」欄）

貨物をバンニングするコンテナ番号を必須入力する。

[13] コンテナ自重（「コンテナ自重」欄左）

コンテナの自重を入力する。

[14] コンテナ自重単位コード（「コンテナ自重」欄右）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
キログラム	K G M
ポンド	L B R

※ [15] の項目は、[12] の項目 1 欄につき最大 6 欄まで繰り返し入力することができる。

[15] シール番号（「シール番号」欄）

コンテナのシール番号を必須入力する。

[16] コンテナサイズコード（「コンテナサイズ」欄）

コンテナのサイズをコンテナサイズコード（「業務コード集」参照）で入力する。

[17] コンテナタイプコード（「コンテナタイプ」欄）

コンテナの形式（タイプ）をコンテナ形式コード（「業務コード集」参照）で入力する。

[18] バンニング個数（「バンニング個数」欄左）

バンニングした貨物の個数を貨物情報に登録されている総個数の範囲内で必須入力する。

[19] バンニング個数単位コード（「バンニング個数」欄右）

バンニングした貨物の外装梱包の単位を包装種類コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

貨物情報に登録されている個数の単位と一致すること。

[20] バンニング重量（「重量」欄左）

バンニングした貨物の重量を必須入力する。

なお、小数点以下第 3 位まで入力することができる。

[21] バンニング重量単位コード（「重量」欄右）

重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入力する。

[22] バンニング容積（「容積」欄左）

バンニングした貨物の容積を入力する。

なお、小数点以下第 3 位まで入力することができる。

[23] バンニング容積単位コード（「容積」欄右）

容積の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で入力する。

(ロ) 呼出しによる方法

「バンニング情報登録（輸出管理番号単位）呼出し」業務（業務コード：V A E 1 1）を利用して、次の事項を入力し送信することにより、システムに登録されているコンテナ情報、貨物情報又はバンニング予定情報が「バンニング情報登録（輸出管理番号単位）呼出情報」（出力情報コード：S A T 0 3 0 1）として応答画面に出力されることから、出力された事項について確認の上、前記(イ)（呼出しによらない方法）に準じて必要とする事項を上書き入力し送信する。

[1] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号、仮陸揚貨物の場合は B / L 番号を入力する。

「社内整理番号」欄を入力しない場合は、必須入力する。

「社内整理番号」欄を入力する場合は、入力不可。

[2] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄）

貨物のバンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[3] 社内整理番号（「社内整理番号」欄）

バンニング予定情報を社内整理番号から呼び出す場合は、社内整理番号を入力する。

「輸出管理番号等」欄を入力しなかった場合は、必須入力する。

「輸出管理番号等」欄を入力した場合は、入力不可。

[4] バンニング予定情報呼出し識別（「バンニング情報呼出し識別」欄）

バンニング予定情報を呼び出す場合は、「1」を入力する。

※ [5] の項目は、最大 30 欄まで繰り返し入力することができる。

[5] コンテナ番号（「コンテナ番号」欄）

「バンニング情報呼出し識別」欄に「1」（バンニング予定情報を呼び出す場合）を入力した場合は、システムに登録した仮コンテナ番号を必須入力する。

「バンニング情報呼出し識別」欄を入力しなかった場合は、コンテナ番号を必須入力する。

ロ 出力情報

前記イ（登録の方法）によりバンニング情報がシステムに登録された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
危険貨物等通知 情報	S A S O O 1 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「CY搬入確認登録」業務（業務コード：CYA）が実施されている場合。 ② 税関へ通知を要する危険貨物等がシステムに登録されている場合。	搬入先の管轄税関 （保税担当部門）
コンテナ通知情 報	S A T O 2 4 1	搬入先がシステム参加保税地域である場合。	搬入先の保税地域
		「船会社＊」欄に入力した船会社コードに係る船会社がシステムに参加している。	ブッキング船会社
他所蔵置搬出通 知情報	S A S O O 4 0	入力したバンニング場所が他所蔵置である場合。	他所蔵置場所の管 轄税関 （保税担当部門）
搬入時自動起動 取消通知情報	S A S O O 3 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「CY搬入確認登録」業務（業務コード：CYA）が実施されている場合。	搬入時申告の登録 者

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		② 税関へ通知を要する事故貨物がシステムに登録されている場合。 ③ 搬入時申告の旨がシステムに登録されている場合。	
搬出通知情報 (輸出管理番号単位)	S A T O 2 8 1	バンニング場所がシステム参加保税地域で、当該保税地域があらかじめシステムに登録している通関業又は海貨業が入力者である場合。	バンニング場所の保税地域

(5) バンニング情報の訂正等

前記(3) (バンニング情報登録 (コンテナ単位)) 又は(4) (バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)) によりシステムに登録したバンニング情報について、訂正等をする必要がある場合は、バンニング情報をシステムに登録した利用者が、次のいずれかの業務を利用して速やかに行わなければならない。

- ① 「バンニング情報訂正」業務 (業務コード：VAD)
コンテナ情報、バンニング数量、貨物情報を訂正する場合。
- ② 「バンニング情報取消し」業務 (業務コード：VAC)
「バンニング情報登録 (コンテナ単位)」業務 (業務コード：VAN) を利用してシステムに登録した輸出管理番号又は「バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)」業務 (業務コード：VAE) を利用して登録したコンテナ番号を取り消す場合。
- ③ 「バンニング情報追加」業務 (業務コード：VAA)
バンニングしたコンテナに係る輸出管理番号をシステムに追加登録する場合。

イ バンニング情報の訂正

(イ) 業務対象

前記(3) (バンニング情報登録 (コンテナ単位)) 又は(4) (バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)) によりシステムに登録したコンテナ情報、貨物情報、バンニング個数、重量又は容積の訂正を対象とする。

(ロ) 呼出しによる方法

「バンニング数量訂正呼出し」業務 (業務コード：VAD11) を利用して、次の事項を入力し送信することにより、システムに登録したコンテナ情報及び貨物情報が「バンニング情報訂正呼出情報」(出力情報コード：SATO320) として応答画面に出力されることから、出力された事項について確認の上、後記(ハ) (呼出しによらない方法) に準じて訂正を必要とする事項を上書き入力し送信する。

[1] 処理区分コード (「処理区分*」欄)

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
コンテナ情報の訂正	5
貨物情報の訂正	4

区 分	コード
バンニング個数、重量、容積の訂正	3

[2] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号を、仮陸揚貨物の場合はB／L番号を必須入力する。

コンテナ情報の訂正の場合は、入力不可。

[3] コンテナ番号（「コンテナ番号」欄）

コンテナ番号を必須入力する。

貨物情報の訂正の場合は、入力不可。

[4] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄）

訂正対象となる貨物のバンニング場所を、保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

(ハ) 呼出しによらない方法

「バンニング情報訂正」業務（業務コード：VAD）を利用して、次の事項を入力し送信する。

なお、本業務は入力した項目のみ訂正となる。

[1] 処理区分コード（「処理区分＊」欄）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
コンテナ情報の訂正	5
貨物情報の訂正	4
バンニング個数、重量、容積の訂正	3

[2] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号を、仮陸揚貨物の場合はB／L番号を必須入力する。

コンテナ情報の訂正の場合は、入力不可。

[3] コンテナ番号（「コンテナ番号」欄）

コンテナ番号を必須入力する。

貨物情報の訂正の場合は、入力不可。

[4] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄左）

訂正対象となる貨物をバンニングしたバンニング場所を、保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[5] バンニング場所地域名（「バンニング場所」欄右）

システムにバンニング場所の地域名が登録されていない場合は、バンニング場所地域の名称を必須入力する。

[6] 積出港コード（「積出港」欄）

コンテナ情報の訂正の場合は、貨物の積出港を国連LOCODE（「業務コード集」参照）で入力する。

[7] コンテナ自重（「コンテナ自重」欄左）

コンテナ情報の訂正の場合は、コンテナ自重を入力する。

[8] コンテナ自重単位コード（「コンテナ自重」欄右）

コンテナ情報の訂正の場合は、次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
キログラム	K G M
ポンド	L B R

※ [9] の項目は、最大6欄まで繰り返し入力することができる。

[9] シール番号（「シール番号」欄）

コンテナ情報の訂正の場合は、シール番号を入力する。

[10] コンテナサイズコード（「コンテナサイズ」欄）

コンテナ情報の訂正の場合は、コンテナのサイズをコンテナサイズコード（「業務コード集」参照）で入力する。

[11] コンテナタイプコード（「コンテナタイプ」欄）

コンテナ情報の訂正の場合は、コンテナの形式（タイプ）をコンテナ形式コード（「業務コード集」参照）で入力する。

[12] ブッキング番号（コンテナ単位）（「ブッキング番号（コンテナ）」欄）

コンテナ情報の訂正の場合で、1コンテナに1ブッキング番号の場合に入力する。

ブッキング番号（コンテナ単位）が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

[13] ブッキング番号（貨物単位）（「ブッキング番号（貨物）」欄）

貨物情報の訂正の場合は、ブッキング番号（貨物単位）を必須入力する。

ブッキング番号（貨物単位）が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

[14] バンニング個数（「バンニング個数」欄左）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、当該バンニング場所でバンニングされた個数を必須入力する。

貨物情報に登録されている個数の単位と一致すること。

[15] バンニング個数単位コード（「バンニング個数」欄右）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、バンニングされた貨物の外装梱包の単位を包装種類コード（「業務コード集」参照）で入力する。

[16] バンニング重量（「重量」欄左）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、当該バンニング場所でバンニングされた重量を必須入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[17] バンニング重量単位コード（「重量」欄右）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で入力する。

[18] バンニング容積（「容積」欄左）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、当該バンニング場所でバンニングされた容積を入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[19] バンニング容積単位コード（「容積」欄右）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、容積の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で入力する。

[20] 残個数（「残個数」欄）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、残個数を必須入力する。

バンニング貨物の残りが無い場合は、「0」を入力する。

[21] 残重量（「重量」欄）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、残重量を入力する。

残個数が「0」の場合は、入力不可。

[22] 残容積（「容積」欄）

バンニング個数、重量、容積の訂正の場合は、残容積を入力する。

残個数が「0」の場合は、入力不可。

(二) 出力情報

前記(ロ)（呼出しによる方法）又は(ハ)（呼出しによらない方法）によりバンニング情報が訂正された場合は、次の情報が配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
コンテナ通知訂正情報	S A T O 2 5 1	次の条件を全て満たす場合。 ① 経由地がシステムに登録されていない場合。 ② 搬入先がシステム参加保税蔵置場である場合。	搬入先の保税地域
		次の条件を全て満たす場合。 ① 経由地がシステムに登録されていない場合。 ② 登録されている船会社がシステムに参加している場合。	ブッキング船会社
		入力した経由地がシステム参加保税地域の場合。	経由地の保税地域

ロ バンニング情報の取消し

システムに登録したバンニング情報を取り消す場合は、次による。

(イ) 取消しの区分

バンニング情報の取消しについては、次の区分に応じて入力することにより処理される。

区 分	「コンテナ番号」欄	「輸出管理番号等」欄
コンテナ番号単位の一括取消し	○	×
輸出管理番号等単位の一括取消し	×	○
輸出管理番号等の取消し	○	○
コンテナ番号の取消し	○	○

(ロ) 「バンニング情報取消し」業務（業務コード：VAC）における区分ごとの取消可能期間

区分	訂正可能期間
コンテナ番号単位の一括取消し又は輸出管理番号等単位の一括取消し	「CY搬入確認登録」業務（業務コード：CYA）が実施されるまで。 経由地がシステムに登録されている場合は、経由地におけるバンニング情報登録が実施されるまで。
コンテナ番号の取消し又は輸出管理番号等の取消し	「CY搬出確認登録」業務（業務コード：CYO）が実施されるまで。

(ハ) 登録の方法

「バンニング情報取消し」業務（業務コード：VAC）を利用して、次の事項を入力し送信する。

[1] コンテナ番号（「コンテナ番号」欄）

コンテナ番号を必須入力する。

ただし、輸出管理番号単位の一括取消しの場合は、入力不可。

[2] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号、仮陸揚貨物の場合はB/L番号を必須入力する。

コンテナ番号単位の一括取消しの場合は、入力不可。

[3] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄左）

貨物をバンニングしたバンニング場所を、保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[4] バンニング場所地域名（「バンニング場所」欄右）

システムにバンニング場所の地域名が登録されていない場合は、バンニング場所地域の名称を必須入力する。

(ニ) 出力情報

前記(ハ)（登録の方法）によりバンニング情報を取り消した場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
コンテナ通知訂正情報	SAT0251	次の条件を全て満たす場合。 ① 輸出管理番号等の取消し、輸出管理番号等単位の一括取消し又はコンテナ番号の取消しでバンニング情報が取り消されたコンテナ番号に対して関連付けられた輸出管理番号等が存在する場合。 ② 経由先がシステムに登録されていない場合。	搬入先の保税地域
		次の条件を全て満たす場合。 ① 輸出管理番号等の取消しでバンニ	CY

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		ング情報が取り消されたコンテナ番号に対して関連付けられた輸出管理番号等が存在する場合。 ② 「CY搬入確認登録」業務（業務コード：CYA）が実施されている場合。 ③ 経由地がシステムに登録されていない場合。	
		次の条件を全て満たす場合。 ① 輸出管理番号等の取消し、輸出管理番号等単位の一括取消し又はコンテナ番号の取消しでバンニング情報が取り消されたコンテナ番号に対して関連付けられた輸出管理番号等が存在する場合。 ② 「CY搬入確認登録」業務（業務コード：CYA）が実施されている場合。 ③ 経由地がシステムに登録されていない場合。 ④ 登録されている船会社がシステムに参加している場合。	ブッキング船会社
		次の条件を全て満たす場合。 ① 輸出管理番号等の取消し、輸出管理番号等単位の一括取消し又はコンテナ番号の取消しでバンニング情報が取り消されたコンテナに対して関連付けられた輸出管理番号等が存在する場合。 ② 経由地がシステムに登録されている場合。	経由地の保税地域
コンテナ通知取消情報	SAT0260	次の条件を全て満たす場合。 ① バンニング情報が取り消されたコンテナ番号に対して関連付けられた輸出管理番号等が存在しない場合。 ② 経由地がシステムに登録されていない場合。	搬入先の保税地域
		次の条件を全て満たす場合。	CY

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		① 輸出管理番号等の取消し又はコンテナ番号の取消しでバンニング情報が取り消されたコンテナに対して関連付けられた輸出管理番号等が存在する場合。 ② 「CY搬入確認登録」業務（業務コード：CYA）が実施されている場合。 ③ 経由地がシステムに登録されていない場合。	
		次の条件を全て満たす場合。 ① バンニング情報が取り消されたコンテナ番号に対して関連付けられた輸出管理番号等が存在する場合。 ② 「CY搬入確認登録」業務（業務コード：CYA）が実施されていない場合。 ③ 経由地がシステムに登録されていない場合。	ブッキング船会社
		次の条件を全て満たす場合。 ① バンニング情報が取り消されたコンテナ番号に対して関連付けられた輸出管理番号等が存在しない場合。 ② 経由地がシステムに登録されている場合。	経由地の保税地域
他所蔵置搬出取消通知情報	SAS0050	入力したバンニング場所が他所蔵置場所である場合。	他所蔵置場所の管轄税関 (保税担当部門)
搬出通知情報 (コンテナ単位)	SAT0270	以下の条件を全て満たす場合。 ① バンニング場所がシステム参加保税地域で、当該保税地域があらかじめシステムに登録している通関業又は海貨業が入力者である場合。 ② コンテナ番号単位の一括取消し、輸出管理番号等の取消し又はコンテナ番号の取消しである場合。	バンニング場所の保税地域

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
搬出通知情報 (輸出管理番号 単位)	S A T O 2 8 1	以下の条件を全て満たす場合。 ① バンニング場所がシステム参加保 税地域で、当該保税地域があらかじ めシステムに登録している通関業 又は海貨業が入力者である場合。 ② 輸出管理番号等単位の一括取消し である場合。	バンニング場所の 保税地域

ハ バンニング情報の追加

システムに登録したバンニング情報に輸出管理番号等を追加する場合は、次による。

なお、コンテナ番号の追加については、本業務によることなく、「バンニング情報登録（輸出管理番号単位）」業務（業務コード：V A E）を利用して、システムに登録する。

(イ) 「バンニング情報追加」業務（業務コード：V A A）における追加可能期間

「船積情報登録」業務（業務コード：C L R）が実施されるまで、輸出管理番号等を追加することができる。

(ロ) 呼出しによらない方法

「バンニング情報追加」業務（業務コード：V A A）を利用して、次の事項を入力し送信する。

[1] コンテナ番号（「コンテナ番号＊」欄）

貨物をバンニングするコンテナ番号を必須入力する。

[2] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄左）

貨物のバンニング場所を保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[3] バンニング場所地域名（「バンニング場所」欄右）

システムにバンニング場所の地域名がシステムに登録されていない場合は、バンニング場所地域の名称を必須入力する。

[4] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等＊」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号、仮陸揚貨物の場合はB／L番号を必須入力する。

[5] バンニング個数（「バンニング個数＊」欄左）

バンニングした貨物の個数を、貨物情報に登録されている総個数の範囲内で必須入力する。

なお、個数で表現できない貨物の場合は、「1」を入力する。

[6] バンニング個数単位コード（「バンニング個数＊」欄右）

バンニングした貨物の外装梱包の単位を包装種類コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

なお、貨物情報に登録されている個数の単位と一致している必要がある。

[7] バンニング重量（「重量＊」欄左）

バンニングした貨物の重量を必須入力する。

なお、小数点以下第3位まで入力することができる。

[8] バンニング重量単位コード（「重量＊」欄右）

重量の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で必須入力する。

[9] バンニング容積（「容積」欄左）

バンニングした貨物の容積を入力する。

なお、小数点以下第 3 位まで入力することができる。

[10] バンニング容積単位コード（「容積」欄右）

容積の単位を数量単位コード（総重量及び総容積）（「業務コード集」参照）で入力する。

[11] ブッキング番号（貨物単位）（「ブッキング番号（貨物単位）」欄）

コンテナ情報にコンテナ単位のブッキング番号が登録されていない場合は、必須入力する。

ブッキング番号が不明の場合は、「Z Z Z Z」を入力する。

(ハ) 呼出しによる方法

「バンニング情報追加呼出し」業務（業務コード：V A A 1 1）を利用して、次の事項を入力し送信することにより、システムに登録されたコンテナ情報又は貨物情報が「バンニング情報追加呼出情報」（出力情報コード：S A T O 3 1 0）として応答画面として出力されることから、出力された内容について確認の上、前記(ロ)（呼出しによる方法）に準じて必要な事項を上書き入力し送信する。

[1] コンテナ番号（「コンテナ番号＊」欄）

コンテナ番号を必須入力する。

[2] バンニング場所コード（「バンニング場所」欄）

貨物をバンニングしたバンニング場所を、保税地域コード（「業務コード集」参照）で入力する。

入力者が自ら管理する保税地域の倉主等である場合は、入力を要しない。

[3] 輸出管理番号等（「輸出管理番号等＊」欄）

輸出（積戻し）貨物の場合は輸出管理番号、仮陸揚貨物の場合は B / L 番号を必須入力する。

(ニ) 出力情報

前記(ロ)（呼出しによらない方法）又は(ハ)（呼出しによる方法）により輸出管理番号等がシステムに追加された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
危険貨物等通知 情報	S A S O O 1 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「C Y 搬入確認登録」業務（業務コード：C Y A）が実施されている場合。 ② 経由地がシステム不参加の場合又はシステムに登録されていない場合。 ③ 税関へ通知を要する危険貨物等が	税関 (保税担当部門)

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		システムに登録されている場合。	
コンテナ通知訂 正情報	S A T O 2 5 1	次の条件を全て満たす場合。 ① 経由地がシステムに登録されていない場合。 ② 搬入先がシステム参加保税蔵置場である場合。	搬入先の保税地域
		次の条件を全て満たす場合。 ① 経由地がシステムに登録されていない場合。 ② 登録されている船会社がシステムに参加している場合。	ブッキング船会社
		システムに登録されている経由地がシステム参加保税地域の場合。	経由地の保税地域
他所蔵置搬出通 知情報	S A S O 0 4 0	入力したバンニング場所が他所蔵置である場合。	他所蔵置場所の管 轄税関 (保税担当部門)
搬入時自動起動 取消通知情報	S A S O 0 3 0	次の条件を全て満たす場合。 ① 「C Y 搬入確認登録」業務（業務コード:C Y A）が実施されている場合。 ② 税関へ通知を要する事故貨物がシステムに登録されている場合。 ③ 搬入時申告の旨がシステムに登録されている場合。	搬入時申告の登録 者
搬出通知情報 (コンテナ単位)	S A T O 2 7 0	バンニング場所がシステム参加保税地域で、当該保税地域があらかじめシステムに登録している通関業又は海貨業が入力者である場合。	バンニング場所の 保税地域